

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-255132

(P2002-255132A)

(43) 公開日 平成14年9月11日 (2002.9.11)

(51) Int.Cl.

B 6 5 C 7/00

識別記号

F I

B 6 5 C 7/00

キーワード(参考)

3 E 0 9 5

審査請求 未請求 請求項の数16 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2001-57204(P2001-57204)

(22) 出願日 平成13年3月1日 (2001.3.1)

(71) 出願人 393007259

有限会社エムアイティインターナショナル
神奈川県横浜市港南区日野7-9-7

(71) 出願人 501084743

株式会社ラスコ
千葉県柏市柏5丁目8番12号オオヤマビル

(72) 発明者 上野 英幸

神奈川県横浜市港南区日野7丁目9番地7号

(74) 代理人 100071755

弁理士 斉藤 武彦 (外1名)

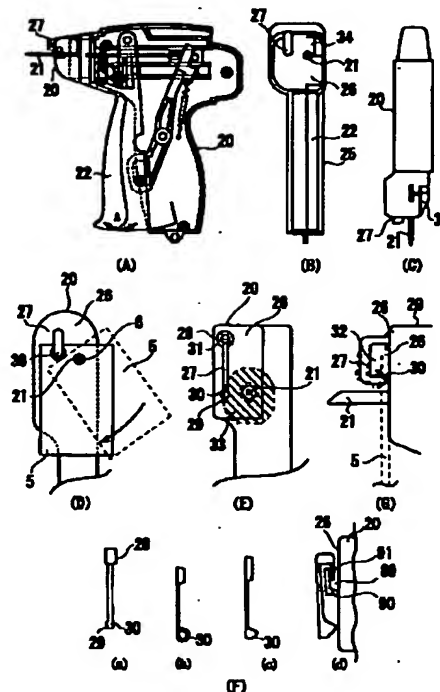
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 係止片取付装置

(57) 【要約】

【課題】 係止片取付装置20を使用して所定のラベル類5を所定の商品に係止させる際に、当該係止片取付装置20を操作する手以外の手を自由に必要な操作に使用出来る様にした係止片取付装置を提供する。

【解決手段】 挿通部2と、保持部3若しくはソケット部15とが、フィラメント部4の両端部に設けられている係止片1の、当該挿通部2を中空針21に挿入して、所定の押し出し手段を介して当該挿通部2を当該中空針21から押し出すことによって当該挿通部2を2ラベル類5と共に所定の商品100に係止せしめる様に構成されている係止片取付装置20に於いて、当該中空針21が突出している当該係止片取付装置20の先端部分26で、かつ当該中空針21の突出部位置の近傍に、当該ラベル類5、400を一時的に係止保持する係止保持部材27が設けられている係止片取付装置20が示されている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 挿通部と、保持部若しくはソケット部とが、フィラメント部の両端部に設けられている係止片の、当該挿通部を中空針に挿入して、所定の押し出し手段を介して当該挿通部を当該中空針から押し出すことによって当該挿通部をラベル類と共に所定の商品に係止せしめるか、当該所定の商品を介して当該ソケット部に係止せしめる事によって当該フィラメント部に適宜のラベル類を保持させる様に構成されている係止片取付装置に於いて、当該中空針が突出している当該係止片取付装置の先端部分で、かつ当該中空針の突出部位置の近傍に、当該ラベル類を一時的に係止保持する係止保持部材が設けられていることを特徴とする係止片取付装置。

【請求項2】 当該係止保持部材は、金属材料あるいは合成樹脂材料で構成されているものである事を特徴とする請求項1記載の係止片取付装置。

【請求項3】 当該合成樹脂材料は、ポリアセタールである事を特徴とする請求項2記載の係止片取付装置。

【請求項4】 当該金属材料は、バネ鋼SUSである事を特徴とする請求項2記載の係止片取付装置。

【請求項5】 当該係止保持部材は、その一端部が当該係止片取付装置の先端部に於ける当該中空針の近傍の適宜の位置に於ける当該係止片取付装置の本体部に適宜の固定装置により固定されており、その他端部は、少なくとも当該係止片取付装置の本体部の表面に向け突出した突出部が形成されており、且つ当該突出部は、所定の加圧力の下で当該係止片取付装置の当該本体部の表面に接触可能な状態で当接せしめられているものである事を特徴とする請求項1乃至4の何れかに記載の係止片取付装置。

【請求項6】 当該突出部の先端部は、突起状、球面状、台形状、円錐、角錐等の形状である事を特徴とする請求項1乃至5の何れかに記載の係止片取付装置。

【請求項7】 当該係止保持部材に於ける当該固定部と当該突出部との間の部分は、当該係止片取付装置の当該本体部表面より離反した状態に構成されている事を特徴とする請求項1乃至6の何れかに記載の係止片取付装置。

【請求項8】 当該係止保持部材の当該突出部は、当該中空針の近傍に配置されている事を特徴とする請求項1乃至7の何れかに記載の係止片取付装置。

【請求項9】 当該係止保持部材の当該突出部は、当該係止片取付装置に於ける当該中空針の近傍で当該中空針の位置に対して略水平方向に配置されている事を特徴とする請求項1乃至8の何れかに記載の係止片取付装置。

【請求項10】 当該係止保持部材の当該突出部は、当該係止片取付装置に於ける当該中空針の近傍で当該中空針の位置に対して略水平方向であって且つ当該中空針に対して右側若しくは左側の何れかあるいは双方に設けられている事を特徴とする請求項1乃至9の何れかに記載

の係止片取付装置。

【請求項11】 当該係止保持部材は、当該係止片取付装置の当該中空針と共同して、所定のラベル類を当該係止片取付装置の先端部に保持する様に機能するものである事を特徴とする請求項1乃至10の何れかに記載の係止片取付装置。

【請求項12】 当該係止片取付装置に於て、当該ラベル類に予め設けられた当該フィラメント部と係合する孔部を、当該係止片取付装置の当該中空針の径よりも若干大きくなる様に形成すると共に、当該ラベル類の当該孔部を当該中空針に係止させた後、当該ラベル類を旋回させて当該ラベル類の一部を当該係止保持部材の当該突出部と当該係止片取付装置の本体部の表面部との間に挿入させて当該ラベル類を当該係止片取付装置の先端部に固定保持する様に構成されているものである事を特徴とする請求項1乃至11の何れかに記載の係止片取付装置。

【請求項13】 当該ラベル類は、当該孔部を当該中空針に係止させた後、当該ラベル類を時計方向若しくは反時計方向の何れかに旋回させて当該ラベル類の一部を当該係止保持部材の当該突出部と当該係止片取付装置の本体部の表面部との間に挿入させるものである事を特徴とする請求項1乃至12の何れかに記載の係止片取付装置。

【請求項14】 当該係止保持部材は、当該係止片取付装置と一体的に成型されて形成されている事を特徴とする請求項1乃至13の何れかに記載の係止片取付装置。

【請求項15】 当該係止保持部材は、その固定端部が、当該係止片取付装置の先端部で当該中空針の配置位置の近傍の位置に設けられたホルダー部に挿入自在に設けられている構成を有するものである事を特徴とする請求項1乃至14の何れかに記載の係止片取付装置。

【請求項16】 当該係止保持部材と当該係止片取付装置の先端部表面との間に複数枚の当該ラベル類が同時に保持されるものである事を特徴とする請求項1至15の何れかに記載の係止片取付装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は衣類品、靴下等の一つに束ねたり、商品にその一端部を挿入してブランドラベル、値札、素材説明書、使用説明書等のラベル類を取付ける事ができる係止片を打ち出すことが出来る係止片取付装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】一般に、衣類品、日常小物、サンダル、靴等を結束したり、当該商品にブランドラベル、値札等を効率的に取り付けるために、従来より種々の係止片が使用されてきている。

【0003】かかる従来に於ける当該係止片1の一具体例の構成を図2に示すが、その構成は、図2に示す様に、挿通部2と、当該ラベル類等を保持し得る保持部3

とが、適宜のフィラメント部4の両端部に設けられているものであって、当該係止片1は、適宜の合成樹脂材料を使用して、上記した各構成部分が一体的に成形加工されているものである。

【0004】かかる係止片1は、図3に例示する様に、適宜の商品100の適宜の部位に、当該フィラメント部4をラベル類5に予め設けられた孔部6に通した後、当該ラベル類5を当該保持部3で保持したまま、当該挿通部2を貫通させる事によって、所定のラベル類5を、当該商品100に係止させる様にしたものである。

【0005】又、別の構成を有する当該係止片10の構成の具体例を図4を参照しながら説明する。つまり、図4にかかる係止片10は、可撓性を有するフィラメント部12と、当該フィラメント部12の一方の端部に設けられた適宜の係合部16を有する挿通頭部13と、前記フィラメント部12の他方の端部に設けられている前記挿通頭部13を不可逆的に通す為の挿通穴14を有すると共に、当該挿通穴14内に当該挿通部13の当該係合部16、16と係合しあう一対のブレード部17、17'とが設けられているものであり、然も、上記した従来の係止片10は、例えば、前記した具体例と同様に、当該挿通部13、当該ソケット部15及び当該フィラメント部12とが、通常ナイロン、ポリプロピレン、ポリエステル等の合成樹脂で一体成形されているのである。

【0006】そして、上記した具体例に於いては、図5に示す様に、任意の商品例えば靴200に於いて、当該フィラメント部12を当該ラベル類400に予め設けられた孔部410に通した後、例えば、把手300と靴本体200との間に当該ソケット部15にフィラメント部12を挿通し当該ラベル類400を保持する機能を有する当該ソケット部15の孔部14に当該挿通部13を貫通させる事によって、所定のラベル類400を、当該商品200に係止させる様にしたものである。

【0007】処で、上記した係止片1或いは10は、例えば、図6に示す様な、所定の商品に刺し通して当該係止片1の挿通部2を当該商品の裏側に係止させる中空針21を有し、レバー22を操作する事によって、当該中空針21の中に当該係止片1の挿通部2を挿入し、適宜の押し出し手段を使用して当該係止片の当該挿通部2を当該商品100に係止させる様に構成されたガンと称される係止片取付装置20が知られている。

【0008】そして、当該係止片1は、一本ずる当該係止片取付装置20から打ち出される様に構成されていても良く、或いは図7に示される様に、個々の当該係止片1が複数個平行に配列された状態で適宜の接続部23を介して適宜の接続具体であるランナー部24に接合固定された形態に構成し、図7に例示されている様に、当該係止片取付装置20の上面に形成されているそれぞれの挿入部に挿入する事により、図6に示す様に、それぞれの係止片1を個別に且つ連続的に所定の商品に打ち

込み、所定のラベル類5を当該商品に係止させる事が出来る。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】然しながら、上記した従来のループピン結合装置は、当該ラベル類5を、当該係止片取付装置20を握っている手とは別の手で保持し、当該ラベル類5に予め定め設けられた孔6に一旦係止させ、当該ラベル類5を保持したまま、所定の商品に当該中空針21を刺し通して当該係止片1を打ち込む必要があり、両手が同時に当該係止片取付装置20の操作と当該ラベル類5の保持に使用される為、必要な商品を保持したり移動させたりする必要がある場合には、不便であった。

【0010】つまり、当該ラベル類5が既に当該中空針21に係止されている場合に、商品を移動させたり、商品の向きを変えたりする場合に、当該ラベル類5を保持している手を離してしまうと、当該ラベル類5が落下してしまうおそれがあった。

【0011】特に、当該係止片1を当該商品に取り付ける際に、下向きに作業を行う場合は、当該ラベル類5が落下してしまうので、両手が塞がってしまうので、特に上記した問題が深刻となっていた。

【0012】かかる問題を回避する為に、当該中空針21の当該係止片取付装置20本体表面からの突出長さを長くする方法が取られているが、かかる構成では、作業者の手が傷つくと言う問題と、当該係止片取付装置20自体の長さが長くなると言う問題が有った。

【0013】そこで本発明の目的は、上記した従来の問題を解決し、当該係止片取付装置20を使用して所定のラベル類5を所定の商品に係止させる際に、当該係止片取付装置20を操作する手以外の手を自由に必要な操作に使用出来る様にした係止片取付装置を提供することにある。

【0014】

【課題を解決するための手段】本発明は上記した目的を達成するため、基本的に以下に記載されたような構成を採用するものである。すなわち本発明の第1の態様は、挿通部と、保持部若しくはソケット部とが、フィラメント部の両端部に設けられている係止片の、当該挿通部を中空針に挿入して、所定の押し出し手段を介して当該挿通部を当該中空針から押し出すことによって当該挿通部をラベル類と共に所定の商品に係止せしめるか、当該所定の商品を介して当該ソケット部内に係止せしめる事によって当該フィラメント部に適宜のラベル類を保持させる様に構成されている係止片取付装置に於いて、当該中空針が突出している当該係止片取付装置の先端部分で、かつ当該中空針の突出部位置の近傍に、当該ラベル類を一時的に係止保持する係止保持部材が設けられている係止片取付装置であり、又、本発明にかかる係止片取付装置の第2の態様としては、当該係止片取付装置に於て、

当該ラベル類に予め設けられた当該フィラメント部と係合する孔部を、当該係止片取付装置の当該中空針の径よりも若干大きくなる様に形成すると共に、当該ラベル類の当該孔部を当該中空針に係止させた後、当該ラベル類を旋回させて当該ラベル類の一部を当該係止保持部材の当該突出部と当該係止片取付装置の本体部の表面部との間に挿入させて当該ラベル類を当該係止片取付装置の先端部に固定保持する様に構成されるものである係止片取付装置である。

【0015】

【発明の実施の形態】本発明の当該係止片取付装置は、上記した技術構成を採用している事によって、当該係止片取付装置を使用して所定のラベル類を当該係止片を使用して、所定の商品に係止させる操作を実行するに際して、少なくとも片方の手が自由に使用しえる状態にする事が可能となるので、操作が容易になると同時に当該係止片取付装置の表面から突出する中空針の突出長も短く出来るので、安全性も向上させる事が可能となる。

【0016】

【実施例】以下に、本発明にかかる係止片取付装置の具体例の構成を図面を参照しながら詳細に説明する。

【0017】即ち、図1は、本発明に係る係止片取付装置の一具体例の構成を示す図であって、図中、挿通部2と、保持部3若しくはソケット部15とが、フィラメント部4の両端部に設けられている係止片1の、当該挿通部2を中空針21に挿入して、所定の押し出し手段を介して当該挿通部2を当該中空針21から押し出すことによって当該挿通部2をラベル類5と共に所定の商品100に係止せしめるか、当該所定の商品100を介して当該ソケット部15内に係止せしめる事によって当該フィラメント部4、12に適宜のラベル類5、400を保持させる様に構成されている係止片取付装置20に於いて、当該中空針21が突出している当該係止片取付装置20の先端部分26で、かつ当該中空針21の突出部位置の近傍に、当該ラベル類5、400を一時的に係止保持する係止保持部材27が設けられている係止片取付装置20が示されている。

【0018】即ち、本発明に於いては、当該ラベル類5、400等を商品に取り付けたりする当該係止片取付装置20に於いて、当該ラベル類5、400等を当該係止片取付装置20にセットして商品に取り付ける際、当該ラベル類5、400等が落下しない様に手で抑えている必要があったが、本発明によって、当該ラベル類の落下防止手段を設ける事によって、片手で容易に取り付け作業が出来る事になる。

【0019】具体的は、当該係止片取付装置20の前部先端表面に設けられた、図8に示される様な、当該ラベル類5、400に予め設けられてい孔部6、410を一時的に係止させる機能を有する当該中空針21の近傍、例えば5mm乃至20mm程度の範囲内に当該ラベル類

5、400を抑える係止保持部材27を設ける様にしたものである。

【0020】係る構成とする事によって、図1(D)に示す様に、当該ラベル類5、400をセットする際に、当該ラベル類5、400に設けられている孔部6、410を当該中空針21に係止させた後、当該ラベル類5、400を当該中空針21を中心点として旋回、回転させる事によって、当該ラベル類5、400の角部を当該係止保持部材27に差し込む事によって当該ラベル類5、400を確実に当該係止片取付装置20の先端部26に保持する事が可能となる。

【0021】当該係止保持部材26は、いかなる材料で構成されていても良いが、好ましくは、金属材料あるいは合成樹脂材料で構成されているものである。当該金属材料としては、例えば、バネ鋼SUSである事が望ましい。当該合成樹脂材料としては、ナイロン、ポリカーボネート、或いは、ポリアセタール等である事が望ましい。

【0022】本発明に於ける当該係止保持部材26は、その一端部28が当該係止片取付装置20の先端部26に於ける当該中空針21の近傍の適宜の位置に於ける当該係止片取付装置20の本体部に、適宜の固定装置31により固定されており、その他端部29は、少なくとも当該係止片取付装置20の本体部の表面26に向け突出した突出部30が形成されており、且つ当該突出部30は、所定の加圧力の下で当該係止片取付装置20の当該本体部の表面26に接離可能な状態で当接せしめられているものである。

【0023】本発明に於ける当該固定装置31は、ネジ、ボルトナット、接着材、等で有っても良く、又当該係止片取付装置20の本体部に一体成形によって固着されているもので有っても良い。

【0024】更には、図1(F)の(d)に示す様に、当該係止片取付装置20の当該先端部表面26に適宜の孔部89を有する保持部90を設け、当該係止保持部材27の当該固定部28に当該保持部の孔部89に嵌合する嵌合部材91を設け、当該嵌合部材91が着脱自在に当該保持部90に保持される様に構成したもので有っても良い。

【0025】又、本発明に於ける当該突出部30の先端部は、図1(F)の(a)から(c)に例示する様に、突起状、球面状、台形状、円錐、角錐等の任意の形状に構成されるものであって、当該ラベル類5、400が、撓動しながら、当該突出部30と当該係止片取付装置の表面部26との間に容易に挿入されて保持しえる構造を有している事が望ましい。更に、当該突出部30は、図1(F)の(b)に示す様に、当該係止保持部材27の本体部を構成する部材を巻き回して形成したもので有っても良い。

【0026】又、当該係止保持部材27に於ける当該固

定部28と当該彫出部30との間の部分は、図1(G)に示す様に、当該係止片取付装置20の当該本体部表面より離反した状態、つまり空間部32が構成されている事が望ましい。

【0027】本発明に於ける当該係止保持部材27の当該彫出部30は、当該中空針21の近傍に配置されている事が必要であり、その範囲は特に限定されるものではないが、使用されるラベル類5、400の大きさ、使用する係止片取付装置20のサイズ等により設定する事になる。

【0028】例えば、図1(E)に示す様に、当該中空針21の周囲に形成された環状の領域33が、適切な場所として考えられる。好ましくは、当該係止保持部材27の当該彫出部30は、当該係止片取付装置20に於ける当該中空針21の近傍で当該中空針21の位置に対して略水平方向に配置されている事が望ましい。

【0029】更に、本発明に於ける当該係止保持部材27の当該彫出部30は、当該係止片取付装置20に於ける当該中空針21の近傍で当該中空針21の位置に対して略水平方向であって且つ当該中空針21に対して右側若しくは左側の何れかあるいは双方に設けられている事が好ましい。当該係止保持部材27を設ける位置が、当該中空針21の右側か左側かは、当該係止片取付装置20の構造によって任意に決定すればよい。

【0030】上記した本発明にかかる第1の具体例に於いては、具体例に於いては、図1(B)に示す当該係止片取付装置20の正面図に於ける右上の部分は、図7から理解される様に、当該係止片1の保持部3が複数個、積層された状態のものが搭載されるための段差部34が設けられているので、本発明のような係止保持部材27を設ける事が不可能であるので、実質的には、図1(B)に示す様に、当該係止保持部材27は、当該中空針21の左側に設けざるを得ないのである。

【0031】つまり、本発明に於ける当該係止保持部材27は、当該係止片取付装置20の当該中空針21と協同して、所定のラベル類5、400を当該係止片取付装置20の先端部26に保持する様に機能するものである。

【0032】より具体的には、当該係止片取付装置20に於て、当該ラベル類5、400に予め設けられた当該フィラメント部4、12と係合する孔部6、410を、当該係止片取付装置20の当該中空針21の径よりも若干大きくなる様に形成すると共に、当該ラベル類5、400の当該孔部6、410を当該中空針21に係止させた後、当該ラベル類5、400を旋回させて当該ラベル類5、400の一部を当該係止保持部材27の当該彫出部30と当該係止片取付装置20の本体部の表面部26との間に挿入させて当該ラベル類5、400を当該係止片取付装置20の先端部に固定保持する様に構成したものである。

【0033】尚、本発明に使用される当該ラベル類5、400に予め形成される当該孔部6、410の位置は、特に限定されるものではなく、図8に示す様に、当該ラベル類5、400の上部中央に設けたもので有ってもよく、又当該ラベル類5、400の上部の左端或いは右端に設けたもので有ってもよい。要は、当該ラベル類5、400の大きさ或いは長さや当該係止片取付装置20の構造、サイズ等によって任意に決定すれば良い。

【0034】上記した様に、本発明に於いては、当該ラベル類5、400は、当該孔部6、410を当該中空針21に係止させた後、当該ラベル類5、400を時計方向若しくは反時計方向の何れかに旋回させて当該ラベル類の一部を当該係止保持部材27の当該彫出部30と当該係止片取付装置20の本体部の表面部26との間に挿入させる事によって、当該ラベル類を効果的に保持する事が可能となる。

【0035】本発明に於いては、例えば、一つの商品に複数のラベル類に係止する場合であっても、当該複数のラベル類を同時に当該中空針21に係止される事によって、一個の係止片を当該商品に係止する作業と同じ操作で効率的に係止させる事が可能である。

【0036】本発明に於いては、当該係止片1が当該商品に打ち込まれる際に当該係止片1の当該保持部3が、当該ラベル類5、400に係止したまま当該係止片取付装置20から分離され、その際、当該ラベル類5、400は容易に当該係止保持部材27の当該彫出部30の係合から離脱することが可能である。

【0037】次に、本発明にかかる第2の具体例に付いて図4及び図9乃至14を参照しながら詳細に説明する。即ち、本具体例に使用される当該係止片10は、上記した、且つ図4に示された様な構成を有するものである。

【0038】かかる構成を有する係止片10に於いても、当該係止片10単独で使用する場合もあるが、多くの場合は、作業効率を向上する為に、図9に示す様な係止片10を複数個並列状に配置した係止片シート600を使用する。

【0039】即ち、図4に示す個々の係止片10が複数個、当該フィラメント部12が互いに平行に隣接して配列されると共に、互いに近接して配置される当該複数個の挿通頭部13若しくはその近傍部と当該複数個のソケット部15若しくはその近傍部とは、それぞれ個別に設けられた接続バー部24、24'にそれぞれ接続せしめられている構造を有するものであって、当該挿通頭部近傍及びソケット部近傍部は、更に係止片11、11'によって相互に連結されている。

【0040】本発明の封緘具600は、従来の封緘具と同様に通常ナイロン、ポリプロピレン、ポリエステル等の合成樹脂で一体成形されている。そして、当該封緘具600は、図10に示す様な係止片取付装置20に搭載

されて、操作レバー22を操作する毎に当該係止片10が一本ずつ打ち出されて商品にラベル類を取り付ける事が出来る。

【0041】図10は、本具体例に於いて当該封緘具600を当該係止片取付装置20に搭載した状態を示したものである。図11は、本具体例に使用される係止片取付装置20の上部平面図であって、当該係止片取付装置20には左右に当該封緘具600の接続バー24、24'が挿入される縦溝40、41が形成されている。

【0042】又当該縦溝40には、例えば、封緘具600のソケット部15を連結する接続バー24'が挿入され、縦溝41には、挿通頭部13を連結する接続バー24が挿入される。また、打ち出し装置20には、図示するレバー22を操作によって駆動される打ち出しピン42が縦溝41の側方に配設されており、挿通頭部13を接続バー24の連結部11'から切り離して、筒状の中空針21に沿って前方へ個づつ押し出す。

【0043】一方、当該ソケット部15は、湾曲状の案内管43に沿って適宜の押し出し手段、例えばギヤ・ラック方式による押し出し手段25等を利用して押し出され、その先端部44に於いて上記した挿通部13と嵌合する様に構成されている。

【0044】かかる具体例に於ける当該係止片取付装置20に於いても、上記した第1の具体例に於けると同様に、図12に示す様に、ラベル類400の孔部410を当該係止片取付装置20の中空針21に嵌合させた後、当該レバー22を操作して当該フィラメント部12を当該商品200に係止させるものであるが、上記具体例と同様の問題が存在している。

【0045】従って、かかる従来の問題を解決する為に、特に、当該中空針21の当該係止片取付装置20の表面26からの突出長を長くした場合には、当該係止片取付装置20に於ける当該ソケット部15を案内する当該湾曲状の案内管43は、当該中空針21と対向して設けられているので、その間隔が短くなってしまう、商品の必要な部位に当該湾曲状の案内管43を引っかける事が困難になり、作業上の制約が発生すると同時に作業効率の低下を来す原因でもあった。

【0046】そこで、本具体例に於いては、図13に示す様に、上記した本発明に係る当該係止保持部材27を当該中空針21の近傍の所定の部位に配置する事によって、上記の問題を完全に解決する事が可能となった。

【0047】本具体例に於ける当該係止保持部材27の構造及び配置位置、当該ラベル類410の構造等は、いずれも上記第1の具体例と同様であるが、本具体例に於ける当該係止保持部材27の配置部位は、当該係止片取付装置20の先端部26を正面から見た場合、当該中空針21に対して右側に設ける事が望ましい。

【0048】つまり、本具体例に係る当該係止片取付装置20は、上記した、湾曲状の案内管43が存在してい

るので、当該中空針21の左側に当該係止保持部材27を配置する事は難しい。

【0049】つまり、図14に示す様に、当該ラベル類400の孔部410を当該ラベル類400を少し左側に持ち上げた状態で当該中空針21に嵌合させた後、当該ラベル類400を反時計方向に旋回させて、当該ラベル類400の右上部を当該係止保持部材27の当該突出部30と当該係止片取付装置20の本体表面部26との間に擦動挿入せしめて当該ラベル類400を一時的に固定保持させるものである。

【0050】従って、本具体例に於いても、上記第1の具体例と同様の作用効果が発揮出来ると同時に、当該中空針21の突出長も短く出来るので、当該湾曲状の案内管43の先端部44と当該中空針21との間隙も長く採れるので、作業性を制限したり作業効率を低下させる心配もない。

【0051】次に、本発明に係る第3の具体例を図15乃至図17を参照しながら詳細に説明する。即ち、第3の具体例は、上記した第2の具体例とほぼ同一の構成を有する係止片取付装置20と係止片10からなる封緘具600を使用するものであるが、特には、当該係止片取付装置20のサイズを小型化する目的、及び当該封緘具を当該係止片取付装置20の搭載して、各係止片10の打ち出し操作を実行中に当該フィラメント部12同志が絡まって操作不能に陥る自体の発生を有効に防止する為に、図11に示す当該係止片取付装置20の上部平面図に於いて、当該挿通部13を固定する接続バー部24の挿入スリット41が形成されている面を当該ソケット部15を固定している接続バー部24'の挿入スリット40が形成されている面よりも低くなるように形成したのであり、従って当該係止片取付装置20の幅がかなり狭くなり小型化が実現出来る。

【0052】従った、係る構成を採用した結果、当該湾曲状の案内管43は、第2の具体例に於いては、ほぼ平面内での湾曲状態を示していたのに対し、本具体例に於ける当該湾曲状の案内管43は、三次元の空間内での湾曲形状を有しているものである。従って、図16に示す様に、当該係止片取付装置20の先端部表面26の当該湾曲状の案内管43の近傍或いは当該湾曲状の案内管43の下部近傍に配置する事が可能となる。

【0053】そのため、図17に示す様に、当該湾曲状の案内管43と当該中空針21とが対向している間隙を利用して当該ラベル類400を図18(A)に示すような状態で当該中空針21の前方まで挿入し、容易に当該ラベル類400の孔部410を当該中空針21に係合させる事ができ、そのまま、当該ラベル類400を時計方向に旋回させる事によって、図18(B)に示すように、当該ラベル類400の左上部を当該係止保持部材27の当該突出部30と当該係止片取付装置20の本体表面部26との間に擦動挿入せしめて当該ラベル類400

11

を一時的に固定保持させるものである。尚、上記本発明にかかる第3の具体例に於ける作用効果は、実質的には、第2の具体例と同様である。

【0054】

【発明の効果】本発明に係る当該係止片取付装置は、上述した様な技術構成を採用しており、当該係止片取付装置20を使用して所定のラベル類5を所定の商品に係止させる際に、当該係止片取付装置20を操作する手以外の手を自由に必要な操作に使用出来る様にした係止片取付装置を容易に得る事が可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、本発明に係る係止片取付装置の一具体例の構成を示す図である。

【図2】図2は、本発明に係る係止片の一具体例の構成を示す図である。

【図3】図3は、図2の係止片を使用した具体例示す図である。

【図4】図4は、本発明に係る係止片の他の具体例の構成を示す図である。

【図5】図5は、図4の係止片を使用した具体例示す図である。

【図6】図6は、本発明に於いて使用される係止片取付装置の一具体例に於ける使用状態を説明する図である。

【図7】図7は、図6の係止片取付装置に係止片を搭載する場合の具体例を示す図である。

【図8】図8は、本発明に使用されるラベル類の構成例を示す図である。

【図9】図9は、本発明に於ける図4の係止片を連結した封緘具の構成例を示す図である。

【図10】図10は、本発明に係る係止片取付装置の他の一具体例の構成を示す図である。

【図11】図11は、本発明に係る図10に示す係止片取付装置の平面図である。

【図12】図12は、図10の係止片取付装置の使用例を示す図である。

【図13】図13は、図10の係止片取付装置に本発明

12

を適用した状態を示す図である。

【図14】図14は、本発明の係止片取付装置にラベル類を取り付けが状態を示す図である。

【図15】図15は、本発明に係る係止片取付装置の別の一具体例の構成を示す図である。

【図16】図16は、図15の係止片取付装置に本発明を適用した状態を示す図である。

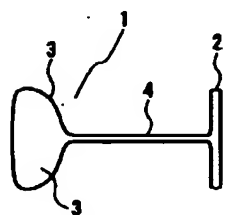
【図17】図17は、本発明の係止片取付装置にラベル類を取り付けた状態を示す図である。

10 【図18】図18は、本発明の係止片取付装置にラベル類を取り付ける手順の例を示す図である。

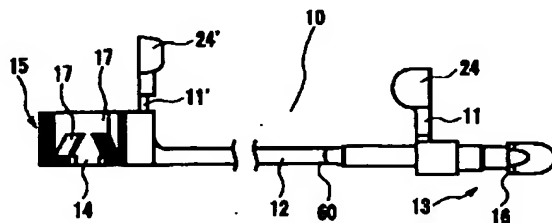
【符号の説明】

- 1、10…係止片
- 2、13…挿通部
- 3…保持部
- 4、12…フィラメント部
- 5、400…ラベル類
- 14…孔部
- 15…ソケット部
- 20…係止片取付装置
- 21…中空針
- 24、24'…接続バー部
- 26…先端表面部分
- 27…係止保持部材
- 28…係止保持部材の一端部
- 29…係止保持部材の他端部
- 30…膨出部
- 31…固定装置
- 32…空間部
- 41、42…接続バー部挿入スリット部
- 43…湾曲状案内管
- 44…湾曲状案内管の先端部
- 93…押し出し手段
- 100、200…商品
- 300…商品の一部
- 600…封緘具

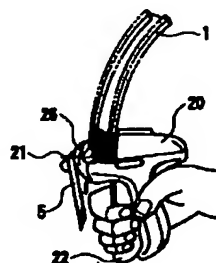
【図2】



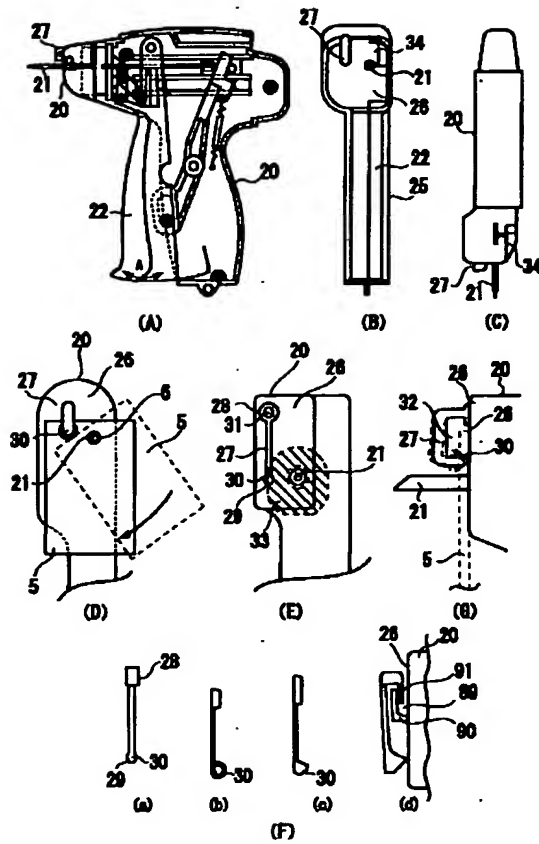
【図4】



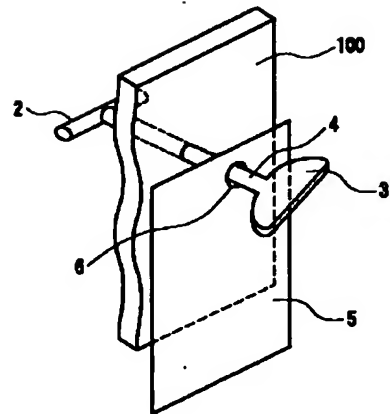
【図6】



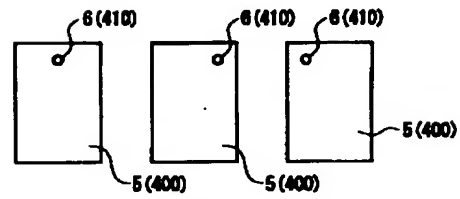
【図1】



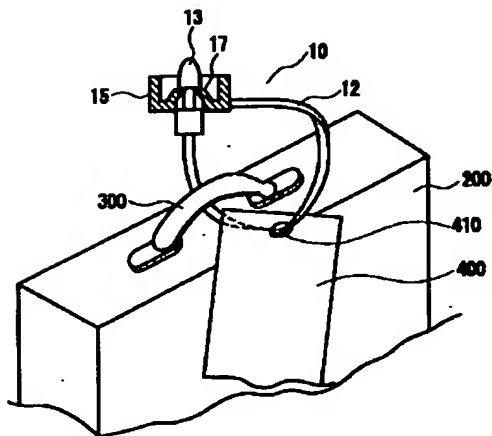
【図3】



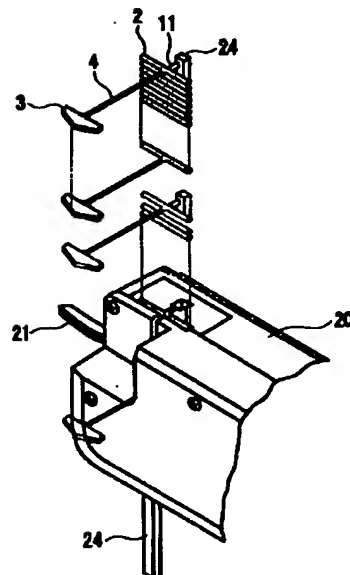
【図8】



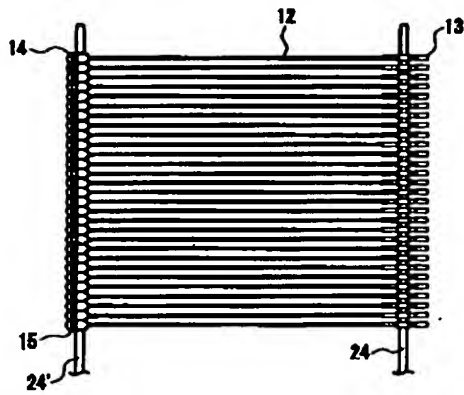
【図5】



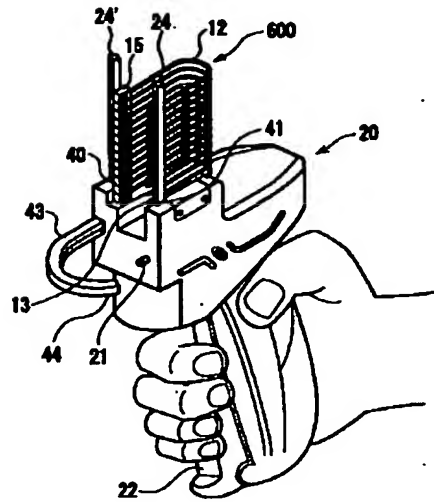
【図7】



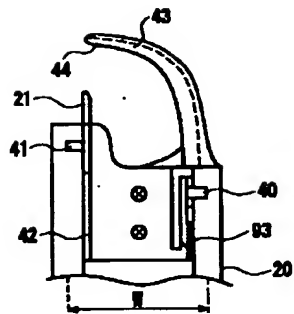
【図9】



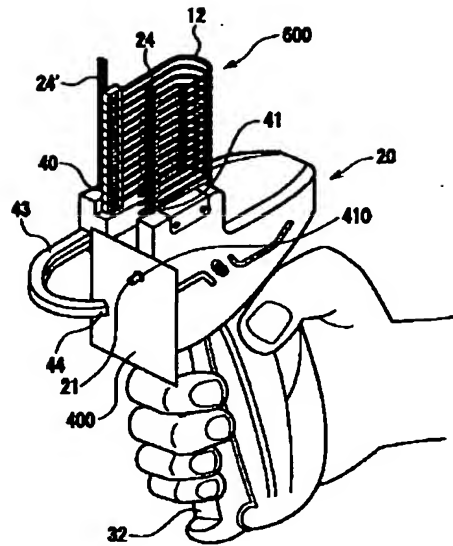
【図10】



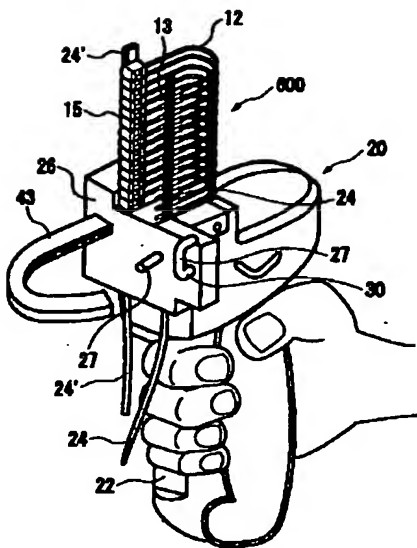
【図11】



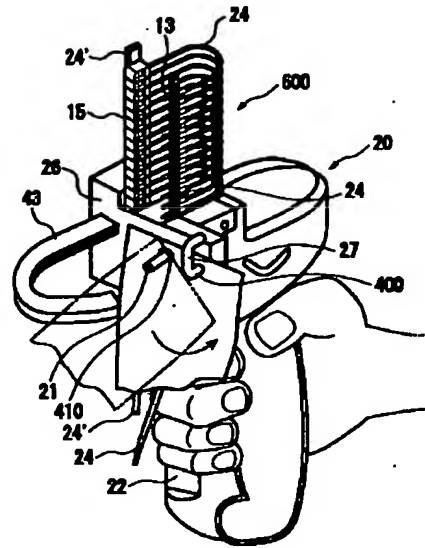
【図12】



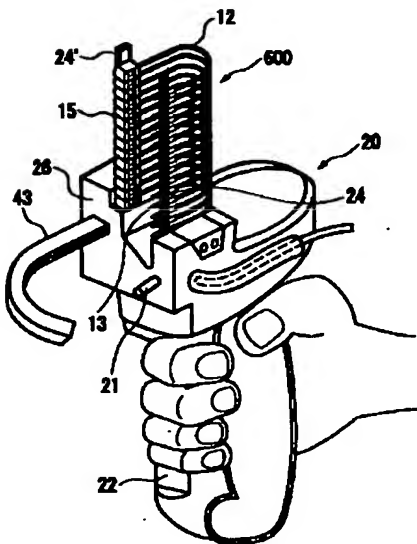
【図13】



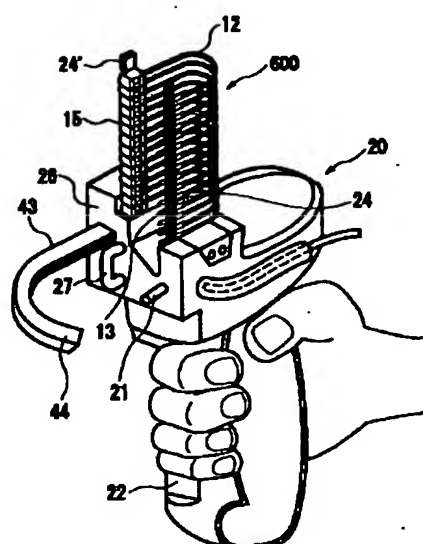
【図14】



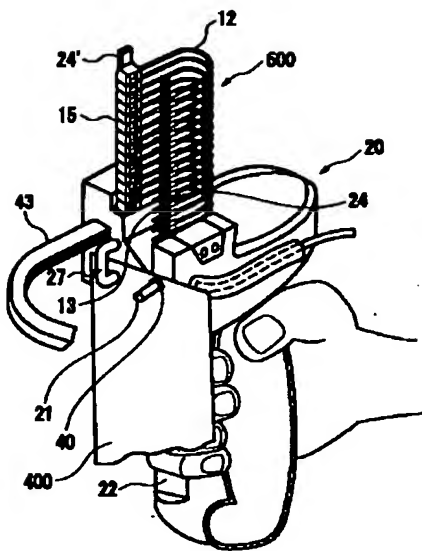
【図15】



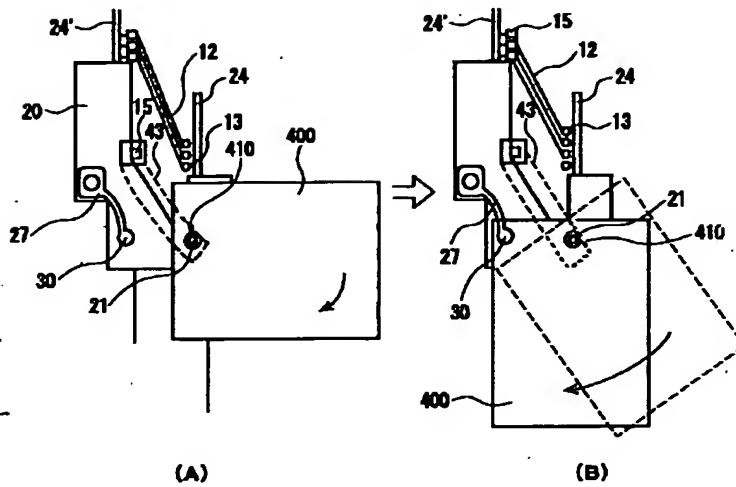
【図16】



【図17】



【図18】



フロントページの続き

(72)発明者 白谷 淳二
千葉県柏市柏5丁目8番12号オオヤマビル
株式会社ラスコ内

Fターム(参考) 3E095 BA06 CA07 DA90 FA06